

JICA短期ボランティア「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」 参加者募集について(2006年8月~9月)

昨年度から、本学とJICAとの連携協力協定に基づき、本学学生を短期ボランティアとして海外のプロジェクトに派遣する事業を開始しています。これは「青年海外協力隊短期派遣制度」を利用した全国でも例のない取り組みであり、派遣された本学学生の活動内容についても、関係の方々から高い評価を得ているところです。

そしてこの度、昨年度2回派遣しました「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」に第3回目の派遣を行うことが決定いたしました。このプロジェクトはフィリピンの酪農振興政策を支援する目的で、2003年10月から五カ年の計画で進められているものであり、高品質で安定した乳生産をはかるために、乳牛の衛生管理、飼育管理、飼料改善、育種管理の面で酪農家の支援を行っています。

期間は夏季休業期間中(8月中旬~9月下旬、6週間を予定)で、旅費、滞在費はJICA負担となります。また、活動期間中の1~2週間は現地でのホームステイを予定しています。

国際協力や異文化交流に興味のある方、将来国際的な仕事に就きたいと考えている方、何か人のために役立つことがしたいという意欲のある方などのご応募をお待ちしています。専門外の分野であっても熱意のある方は歓迎いたします

募集要項

- (1) 目的等 JICA「フィリピン酪農開発強化プロジェクト」に参加し、現場で技術協力を体験する。業務はフィリピン側の要請に基づいて行います。
- (2) 職種・募集人員 獣医2名、家畜飼育4名 計6名
- 注意： 上記は、フィリピン側の要請に基づく職名であり、獣医とは獣医学科の学生でなければならないというわけではありません。より詳しい要請内容は学務課学務係までお問い合わせ下さい。ただし、活動内容は現地のそのときの状況によって変化する場合があります。
参考までに前回までの活動内容を簡単に紹介すると、乳質検査、乳房炎の牛の調査、飼料の成分分析、人工授精を通じた繁殖の改善、育種改良のためのデータ収集・分析など、です
- (3) 対象学生 満20歳から満39歳までの日本国籍を持つ学部生(3年次以上)及び大学院生
- (4) 実習期間 6週間(8月中旬~9月下旬)
- (5) 参加費用 渡航旅費、滞在費はJICA負担
- (6) 身分 JICAの派遣する正式なボランティア隊員です。
渡航、滞在も公用旅券、ボランティアビザによるものとなります。
- (7) 申込期限・申込先 所定の申込書(大学様式)及び作文(A4両面1枚以内、JICA様式)を提出してもらいます。
申込期限：平成18年5月30日(火) 申込先：学務課学務係TEL0155-49-5294
(当初の26日から延期しました。)
- (9) 選考方法 面接・作文等
学内選考決定後、大学からJICAに推薦し、JICAにより正式決定します。(6月上旬ごろ)
- (10) 事前技術研修等 正式に派遣決定された者には、派遣前の2ヶ月間(6~7月)を利用し、業務についてのフィリピンとの事前打合せ、学内技術研修等を行います。
- (11) その他
イ この活動は、インターンシップ(就業体験実習)として取り扱うことができます。
ロ 派遣学生には、帰国後に報告会を行っていただきます。
ハ 学内選考決定後、すみやかにJICAが定める申請書等(写真1枚、旅費等振込口座の通帳の写しが必要)を提出していただきます。
ニ JICAで正式に派遣が決定した後すみやかに、公用旅券の発券及びボランティアビザ申請のための手続きが必要となります。
ホ 学内選考決定後であっても、JICAに提出する健康状態に関する調書の内容によっては、医師の判断によりJICA側が派遣を取り消す場合があります。